

技術概要書（様式）

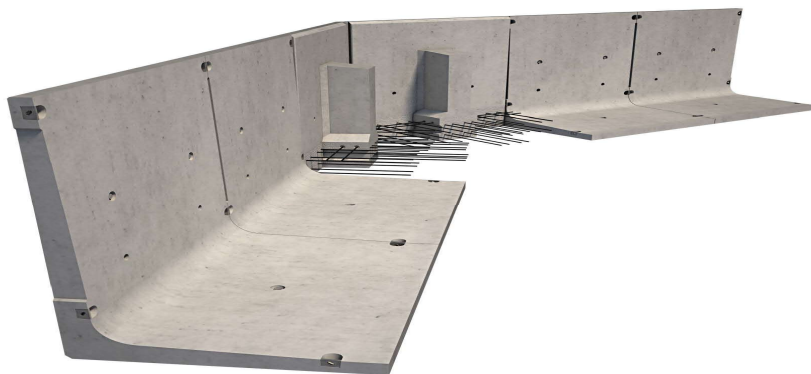
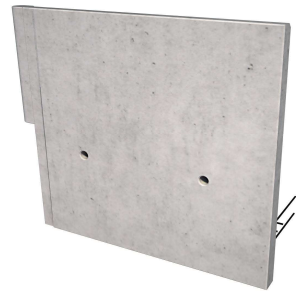
※別紙2

技術分類	安全・防災 維持管理 環境 コスト ICT 品質 （該当分類に○を付記）		
技術名称	ニューノーマルクリフ「マルチコーナー擁壁」	担当部署	営業第3部
NETIS登録番号		担当者	西田 薫
社名等	株ヤマウ	電話番号	092-872-3331
技術の概要	<p>1. 技術開発の背景及び契機</p> <p>左右専用部材組合せた、道路L型擁壁用コーナーブロックの実績（約10,000㎡超）を受けて宅地擁壁専用の「マルチコーナー擁壁」を開発しました。</p> <p>宅地造成用擁壁のコーナー処理は従来一体型コーナーブロックで対応していましたが、通常の直線部に使用するL型擁壁（L2000）の重量と比べると2倍近く重くなるため、使用する据付機械が大きくなり施工費の負担が増していました。</p> <p>「マルチコーナー擁壁」は工場製品である2枚のたて壁と底板を現場打コンクリートで構築する事により、直線部で必要な据付機械と同規格で据付出来施工時の経済的負担の軽減をはかることが可能で、左右専用部材の組み合わせにより折角を90°～180°未満の範囲で自在に施工でき、さらには折部の</p> <p>2. 技術の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・左右専用部材の組合せにより構成するL型擁壁用のコーナーブロックです。 ・折部の折角は90°以上180°未満の範囲で自在に施工が可能です。 ・「宅地防災マニュアル」に準拠した構造設計を行っており、設計載荷重は10kN/㎡、大規模地震動における標準設計水平震度は0.25を採用しています。 ・（一財）ベターリビングによるRC評定を取得しています。 ・「ニューノーマルクリフⅢ型マルチコーナー擁壁」として国土交通大臣認定申請中です。 <p>3. 技術の効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・折部が曲面仕上げで現場打仕上げと比較して、美観に優れます。 ・従来の「ニューノーマルクリフ用コーナーブロック」と比較して重量が軽くなるため、使用する据付機械が直線部に使用する機械と同じため経済的です。 <p>4. 技術の適用範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製品高さ3mまでの宅地擁壁のコーナー部。 ・美観性を要求される市街地や住宅街の擁壁コーナー部。 <p>5. 活用実績</p> <p>国の機関 0 件（九州 0件、九州以外 0件） 自治体 0 件（九州 0件、九州以外 0件） 民間 0 件（九州 0件、九州以外 0件）</p>		

6. 写真・図・表



コーナーモデル_003.jpg



組モデル_03.jpg